

複数鉄道事業者による相互直通運転構想に関する協議の開始について

Marish Railways（以下、MR）を含む複数の鉄道事業者は、サーバー内広域エリアにおける今後の交通ネットワーク形成に向けて、**鉄道路線の相互直通運転を含む運行連携構想の検討を開始**したことをお知らせいたします。

本構想は、各社が現在計画・準備を進めている路線同士を将来的に接続し、乗り換えのない一体的な運行を可能とすることで、より利便性の高い移動手段を提供することを目的としています。

1. 構想の背景

新桜サーバー内では、今後の都市開発や新規拠点整備にあわせて、各事業者が新たな鉄道路線の構想・設計を進めています。

こうした中、**浜平・新大宮（仮称）を中心とする中継エリアを軸に、南北方向を結ぶ広域交通ルートの形成**が、将来的な利用者の利便性向上に大きく貢献するとの見通しから、相互直通運転を含めた路線連携の可能性について、関係各社間での初期的な協議が開始されました。

2. 現在の検討状況

現時点では、いずれの事業者においても対象路線は**未開業または整備前の段階**であり、今回の協議はあくまで**構想レベル**での意見交換・方向性の確認を主眼としています。

今後の進展に応じて、以下のような項目について順次検討を進めていく予定です：

- 路線の接続方式・運行スキームの整合性
- 車両・施設に関する基本仕様のすり合わせ
- 相互直通に必要な信号・制御システムの検討
- 主要駅（例：新大宮（仮称））における機能の共有化 など

3. 今後の見通し

今後は、各社の路線整備状況や地域計画の進捗を踏まえつつ、実現可能性の精査を進めるとともに、必要に応じて試験運転や部分開業も含めた段階的な検証を実施していくことを想定しております。

なお、具体的な開業時期や運行開始日程については、現段階では未定です。